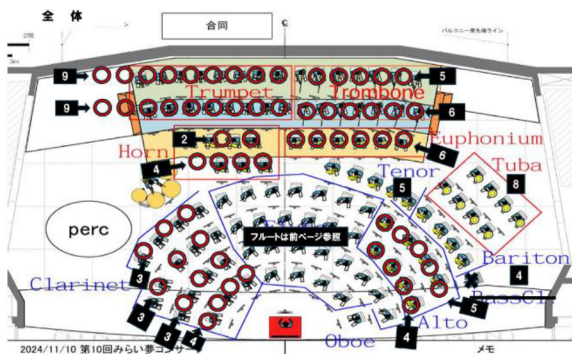




ずらりと並ぶと圧巻ですが、入れ替わりをするのがやっとなので工夫が必要です。本番のステージでもパート割りや並び順、楽器の位置など指導者の皆さんの意見を伺いながらギリギリまで調整確認が続いています。



プロに学び自分で考える

参加生徒さんの声 アンケートより

(1~5回目 10/20回収)

- ・今まではフォルテなどを意識して吹こうとするとただ息をたくさん入れて吹くという感じでしたが、先生方に**息をたくさん入れるのではなく「音の響きを豊かにする感じで」**と言われ、やってみると今までと自分の音色が全然変わってとても驚きました。
- ・中3になったことで、部活を引退し受験生になり、練習する時間があまりない中今年も参加したのは、高校生になったらトロンボーンができるかわからなく、前回初めて参加したときすごく楽しくて、もしかしたらトロンボーンでワークショップに参加できる最後の機会かもしれないという想いで入りました。**こんなにワークショップに参加しているのに「飽きた」という感情は1回もでてきたことはありません。**残り数少ないワークショップを全力で楽しみたいと思います。
- ・杉並区中の中学生が楽器という共通点だけで集まって1つの合奏をできることが、こんなにすごいものだと思います。同学年の人だけでなく、上級生の方々の音色を聞いて部活動だけでは学びきれない経験になったと思います。プロの具体的なイメージがわからなくて、**自分の吹く楽器で職に就く人なんて雲の上の話だったけれど、ワークショップに参加してきちんとプロに向きあえました。**ネットや本では分からないコツとかノウハウを間近で見て学べて、音色自体が参加前よりぐっと伸びた感じがしています。
- ・初めて参加して吹けるようになるか不安だったものの、先生や先輩に丁寧に教えてもらえました。特に**隣の高校生にアドバイスをもらえたというのが非常に大きかったです。**大人数でいっしょになって演奏することの楽しさを体験できました。私の学校には吹奏楽部がなく、いつもレッスンでフルートを習っているの、こんなにたくさんの人で演奏することはないので、よい経験になりました。
- ・今回、初めてワークショップに来て、今まで知らなかった基礎的なことを知ることができました。曲によっては自分の技術ではできない所もありましたが初見から出来る所も増え、吹ける所は全力で吹けるようになりました。**今回のワークショップを生かして、部活でも活動していきたいです。**
- ・最初は自分の音に自信がなく、芯のない音しか出せませんでした。タンギングもしよっちゅう忘れてしまったりと、しまりのない演奏だったけれど、**だんだんと周りの元気のよいハキハキした音に感化され、自分ももっと楽しく音楽に乗ろうと思うことができました。**スタッカートとアクセントに気を配りつつ演奏することで、三か月前の自分よりも一回り成長できた気がします
- ・午後からの飛び入り参加でしたが、多くのことを学べ、昼食中には先生たちとトランペットについて話せましたし、吹奏楽や楽器の楽しさを思い出していました。本番に向けてしっかり練習し、**中3という中学生最後の音楽祭のステージを後悔のないよう頑張りたいです。**
- ・ワークショップに来る前は、自分の課題がいまいだったが、上手な人の演奏を聞くことでシンバルのたたき方、また、スネアのまとまりを聞いて工夫の仕方が分かった。
- ・**大人数の合奏ではどれだけ自分の音を強く出せるかが重要だと学んだ。**
人の音を聞いて自分がどのような音を出せばいいか考えることの重要性をあらためて感じた。